

第6学年3組 算数科授業デザイン

並べ方と組み合わせ方「順序よく整理して調べよう」

指導者 曾野部伸弥

1 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間力等
<ul style="list-style-type: none"> 起り得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解し、求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図、表などを用いて表すなどの工夫をしながら、落ちや重なりがないように、順序よく調べたり、順序や組み合わせの求め方を、進んで生活や学習に活用したりする。

2 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 順序や組み合わせなどの事象について、落ちや重なりがないように、図や表などを用いて、規則に従って正しく並べたり、整理して見やすくしたりして、全ての場合を調べる方法を知り、調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ちや重なりなく調べるために、観点を決め、順序よく整理して考えている。 図や表を適切に用いたり、名前を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道立てて考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図、表などを用いて表すなどの工夫をしながら、落ちや重なりがないように、順序よく調べていこうとしている。 順序や組み合わせの求め方を、進んで生活や学習に活用しようとしている。

3 単元計画

段階	時数	主な学習活動 (○)	評価観点		
			知	思	態
第1次	1 (本時)	○4つの観光地を巡る順番を考えると、巡り方が何通りあるかについて、落ちや重なりのないように調べる方法を考える。			○
	2	○4つから2つを取り出して並べるとき、並べ方が何通りあるかを考える。	○	○	
	3	○コインを何回か投げたとき、表と裏の出方が何通りあるかを考える。	◎	○	
	4	○いくつかのものの中から順番に関係なく2つを選んだ時の組み合わせが全部で何通りあるかについて、落ちや重なりなく調べる方法を考える。		◎	
第2次	5	○様々な問題に取り組み、基本的な学習内容を理解しているか確認する。			◎
	6	○テストに取り組み、学習内容の定着を確認する。	◎	◎	
	7	○学習内容の定着度に応じて、補充プリントや発展問題に取り組む。 ○単元全体を振り返り、学びを整理する。			◎

◎「記録に残す評価」 ○「指導に生かす評価」

